



Actuating Your Dreams

マブチグループ

社会・環境報告書 2017



CONTENTS

- 会社概要 02
- ご挨拶 03

ものづくりによる社会貢献 05

社会性報告

- コーポレートガバナンス 07
- コンプライアンス 08
- リスクマネジメント 09
- ものづくり・教育に対する支援活動 11
- 地域支援活動 13
- 活気のある職場づくり 14

環境報告

- 環境マネジメント 17
- グリーン調達 18
- 環境にやさしい企業活動 19
- 環境コミュニケーション 20
- 環境の歩み・環境データ 22



編集にあたって

当社は、本報告書を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、マブチグループと関わるすべての方々とのコミュニケーションを更に充実させ、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化(PDF)した報告書をホームページに掲載しております。

対象期間：2016年度(2016.1.1～2016.12.31)

対象範囲：モーターの設計、製造、販売、及びサービスの提供に関わる社会的な取り組みと環境活動の内容

対象組織：マブチグループ

* 一部対象期間外

【日本】

- ・マブチモーター株式会社(本社)

【北・中南米】

- ・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR MEXICO S.A. DE C.V.(メキシコマブチ)

【欧州】

- ・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR POLAND sp. z o. o.(ポーランドマブチ/2017年1月設立)

【アジアパシフィック】

- ・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
- ・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)
- ・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)

【中国・香港】

- ・萬寶至實業有限公司(香港マブチ)
- ・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
- ・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
- ・東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司(道ジャオマブチ)
- ・万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)
- ・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
- ・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
- ・万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
- ・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
- ・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

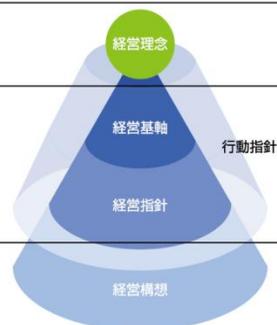
経営基軸

- より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
- 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
- 人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
- 地球環境と人々の健康を犠牲にしない企業活動を行う

恒久的に変化しない考え方

短期的には変化しない考え方

時代に応じて変化する考え方



マブチの経営ビジョン体系図

会社概要

■ 商号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.
■ 創立年月日	1954年1月18日
■ 事業内容	小型モーターの製造販売
■ 資本金	207億481万円
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄
■ 従業員数	本社:781名 グループ:23,768名 (2016年12月末現在)

■ 連結業績	売上高	1,406億9千9百万円
	当期純利益	205億9千8百万円 (2016年12月期)
■ 所在地(本社)	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 TEL:047-710-1111(代表)	
	(技術研究所)	千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 TEL:047-710-1222(代表)

マブチグループ



モーターを通じた社会貢献を

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる、良質で安価なモーターをつくりたいとの思いを胸に創立しました。

当社におけるすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』は、マブチグループ全社員の「企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在する」という考えのもと、日々の活動に取り組む礎となっています。

私たちの「国際社会への貢献」とは、現地に根ざし、その国・地域の皆様とともに、技術を磨き人材育成を行い、経済発展、地域社会に貢献することです。これまで継続し、これからも目指

していくものは、このような「真のグローバル化」です。この「真のグローバル化」の必要性は、今後益々高まっていくことでしょう。今後も、企業の目的である、社会の公器としての役割を世界レベルでしっかりと果たしてまいります。

同時に、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献すること、人々の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをするところこそ、専門メーカーであるマブチモーターの使命と捉え、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに邁進する所存です。



代表取締役社長

大越博雄

当社は、お客様のご要望の最大公約数的なモーターを標準品として開発することで高品質と低価格の両立を図ってきました。共通化された部材を世界中のお客様の近くで現地調達し、自動化技術を駆使した設備で生産販売する、いわゆる「地産地消」対応で、どこでも同じ高品質モーターを提供できる、徹底的な標準化戦略を当社独自の強みとしております。

海外展開においては、1964年に香港に拠点を設立、その後、中国・台湾・ベトナムへと、グローバルな生産・供給体制の構築を積極的に進め、当該地域の経済発展、人材育成に貢献してまいりました。2016年に量産を開始した「メキシコマブチ」に続き、2017年に欧州初の生産拠点「ポーランドマブチ」を設立いたしました。グローバル生産・販売体制構築の取り組みは、更に高いステージへと進んでおり、これを契機として、より一層ワールドワイドに社会への貢献を拡大してまいります。

更に、企業市民としての社会貢献活動についても積極的に推進し、特に未来を担う青少年たちに、モーターを通じた教育支援を継続的に行

っています。モーターとの出会いが、「ものづくり」や「技術」、「理科・科学」に関心を持つきっかけになることもあります。工作教室や出前授業で楽しそうに目を輝かしている子供たち、ロボットコンテストで創意工夫を凝らしている学生たちの今後の成長が私たちの大きな喜びであります。

社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国際社会にとって極めて重要です。当社モーターとその「技術」、そして「ものづくり」を体験する活動を通じて、未来を担う人々の育成に貢献できるよう、今後も継続的に取り組みます。

現代社会では、経済発展に伴う地球規模での環境破壊、格差や労働問題など幾多の問題が起きています。企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の繁栄なくして企業の存続はあり得ません。当社はこれからも、不変の経営理念のもと、事業を通じて、様々なステークホルダーの皆様とともに、問題解決に向けた活動を積極的に継続してまいります。

今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ものづくりによる社会貢献

当社は、標準化を進め、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げていきます。



当社の製品は、環境に配慮した高性能・低価格・フレキシブルな生産供給を実現し、広範囲なフィールドに用途を拡大。年間生産量約15億個の世界No.1ブランドです。

製品紹介



エンジン周辺機器用モーター RS-4F5WA

RS-4F5WAは、耐熱性、耐振動性を向上し、自動車のエンジン周辺の厳しい使用環境に適応しており、エンジン吸排気・冷却水バルブやターボチャージャーアクチュエーターなどの電子制御用にご使用いただくことで燃費向上や排気中の有害物質低減に貢献いたします。



【製品の特長】

1. 耐熱性を向上
耐熱性素材を使用し、エンジン周辺の厳しい温度環境に対応
2. 耐振動性を向上
各部の強度を高め、正弦波振動試験(※1)にて40G相当の振動耐久性を実現
3. 電気ノイズ規格に対応可能
チョークコイルやコンデンサなどの素子を内蔵可能な構造を採用し、電気ノイズ規格に対応

※1：製品に周期的な振動を与え、性能劣化や機械的弱点を判定する試験



パワーウィンドウ用モーター GD-558RE/LE GD-558RF/LF

パワーウィンドウ用モーターGD-558シリーズに、欧米自動車メーカーの基準に適した仕様のGD-558RE/LEが加わりました。車体の軽量化によって燃費が向上し、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。



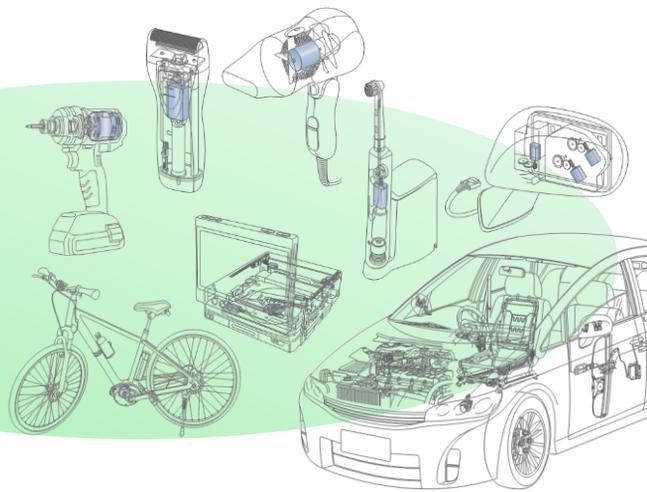
【製品の特長】

1. 欧米自動車メーカーの基準に適合
2. 従来製品比※2 約14%のトルクアップを実現
3. ギアボックスの小型化(従来製品比※2 約30%)により、ドア部の薄型化に貢献
4. 軽量化設計：重量を約355gに抑え、従来製品比※2 約14%(約59g)の軽量化

※2：当社従来製品GA-558RN/LNとの比較



当社のモーターは、様々な用途で、皆様の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをしています。



プリンター用モーター RS-655VA



主にレーザープリンター用途に向け、お客様の製品への対応力を更に高めたブラシ付モーターです。

【製品の特長】

レーザープリンターの小型・静音・省電力化に対応可能なφ38ブラシ付モーターを開発しました。

1. 小型化:トルクを16%改善したことで、求められるトルクの製品と比較して小型化し、ギヤ比の低減により、プリンターのコンパクト化に貢献
2. 静音化:磁気回路及び部品の最適化を図り、低ノイズと制御性の改善(トルクリップルの低減)を実現
3. 省電力化:従来製品(※3)と比較して消費電力を10%以上低減

※3:当社従来製品RS-555VCとの比較

製造技術紹介

製造技術(生産工程、設備の開発や改良)においても、環境負荷低減(省エネ、省資源、及び有害物質の不使用など)への取り組みを心がけております。



圧縮エアの削減

生産過程においても常に省エネを心がけています。例えば、パーツフィーダー(※4)へのエアがけを、直接式あるいは間欠式からパルス式(※5)に変更することで、エア使用量を削減し省エネ化を実現しています。

※4:パーツフィーダー…各種ワーク(部品・部材)をアタッチメントで整列させ組立機・検査機等に供給する装置

※5:直接式:常時行う、間欠式:ワーク供給が満了時には停止する、パルス式:パルス信号のようにON~OFFを繰り返す



金型開発における省資源化

金型の開発においても、省資源化を積極的に進めています。

〈省資源化するための考え方〉

- ・標準化
- ・全行程部品共通化
- ・部品点数削減
- ・小型化
- ・設計ミス撲滅

・シンプルな構造、最低限の加工でできる形状 など
これらの工夫によって、2016年に開発した金型の一例として、従来型に比べ、体積比にて47%の材料を削減できたものがあります。

コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。社員一人ひとりが理解して守るべく、コンプライアンス体制を強化しています。

マブチモーター倫理規範

当社は、『国際社会への貢献とその継続的拡大』を経営理念に掲げ、その実現に向け企業活動を行っておりますが、この実現にあたっては、各国の法規制を守ることはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った活動を行うことが大前提であると考えています。

そこで、「マブチモーター倫理規範」を制定し、すべての役員・社員が守るべき法令等の社会ルールを具体的に示し、その浸透を図ってまいりました。これら活動のなご一層の周知を図ることを目的に、すべての役員・社員に小冊子に配付しております。

2016年も、引き続き海外生産拠点をはじめとして必要とされるコンプライアンス教育活動を継続いたしました。

今後も、コンプライアンス(法規制及び社会規範の遵守)に関する様々な説明会や研修を実施し、コンプライアンス経営の確立を目指してまいります。

マブチグループ全拠点に設置されたコンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部統制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担っています。

本社の内部監査部門は、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、マブチグループ全体のコンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート(上司や組織部門の窓口など)とは別に、内部監査部門が管理する、匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

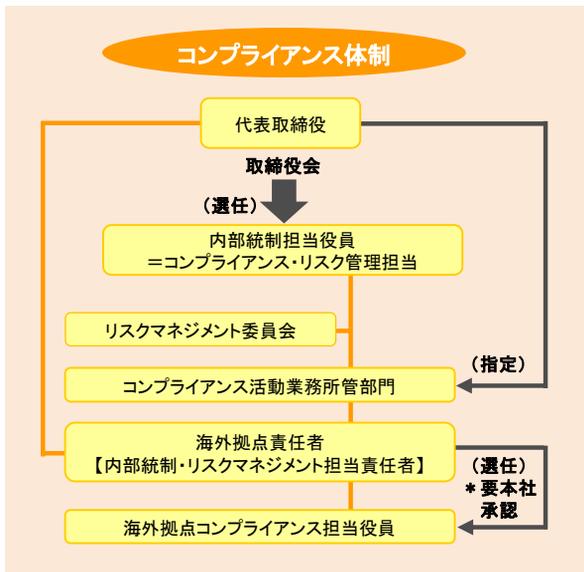
当社は、お取引先様とも日頃から誠実で公正なお取引と相互信頼関係の構築に努めていますが、問題発生のみ未然防止並びに拡大防止体制を強化するために、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。

また、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを約束するトップメッセージを発信しています。

【倫理規範基本方針(概要)】



1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家様、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規則、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。



リスクマネジメント

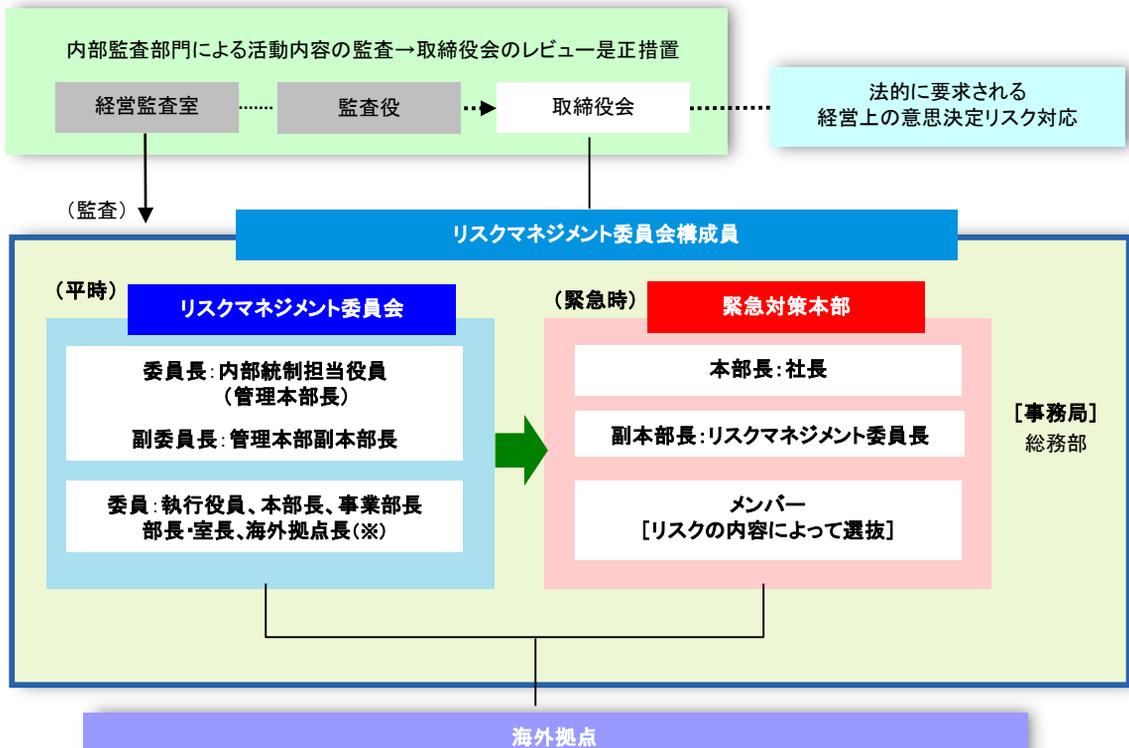
マプテグループは、グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を実現なものにするため、多様化する事業活動上の様々なリスクの軽減・最小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組んでいます。

リスクマネジメント体制

当社は、リスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。マプテグループ全体として最適な

対応を可能とする体制を確立するとともに、この体制をベースに、緊急時における対応・方針・各種マニュアルなども整備しております。

リスクマネジメント委員会の位置づけ



※海外拠点長は非常勤メンバーとする(リスクマネジメントに関して必要な情報共有は適時行う)

考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢、及び金利・通貨・資材価格などマーケット流動性リスク など

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、情報通信システム、知的財産権、労災、設備災害、環境、労務、人権、風評、サプライヤー、物流、及びM&A など

リスクマネジメント委員会の対応

- ① 人命(安全)確保
- ② コンプライアンス
- ③ 情報セキュリティ
- ④ 生産・供給停止 　　に分類・特定

それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、マプテグループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行する

災害対応マニュアル&各種訓練

当社は、「管理職の初期行動・指示マニュアル」、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、及び「安否確認システム(本社全社員対象)」の導入などを行うとともに、緊急対策本部をはじめ、災害時に重要な役割を担う部門においてそれぞれ対応マニュアルを策定しております。

また、防災教育や各種訓練(避難・通報・消火、救急救護、安否確認、及び帰宅報告ほか)を定期的を実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として使用している本社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域の被災者に対する給水支援を行う準備もしています。



大規模災害発生時緊急対応カード



消防署指導のもと実施した
防災・消防訓練(本社)
消防訓練(中国)



緊急事態発生時の対応訓練

緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務の特性に合わせて、様々なケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を実施しています。



(中国)

(本社)

備品・資機材や飲食料などの備え(本社)

- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用PHS
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピューターシステム保護のため、必要な自家発電装置、燃料、及び仮設トイレ
- 緊急避難時に必要なヘルメット
- 帰宅者に配付する飲料水
- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料及びトイレ用水
- 設備・什器・備品などの転倒防止策
- 設備・什器・備品などの復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的とする機器・機材 など



情報セキュリティポリシー

当社は、保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難などを防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めたすべての社員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、「情報セキュリティポリシー」を定め、情報セキュリティの確保に万全を期しております。

個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報(以下「個人情報」)を適切に取り扱い、保護することを重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき個人情報の保護に努めます。

ものづくり・教育に対する支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を实践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。

ロボットコンテストへの協賛

当社は、未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、「高専ロボコン」、「ABUロボコン」、「学生ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。



ABUロボコン2016



学生ロボコン2016



モーター支援

高専ロボコンへのモーター支援 累計約21,300個



ギアヘッド付RS-555VC(上)
ギアヘッド付RS-385PH(下)

JC/LC-578VA

ほか



高専ロボコン2016



子供たちに「理科」の楽しさを伝えています。

出前授業

毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地域(松戸市)の小学校を対象に実施しています。子供たちから、「モーターの部品を手にとり、磁石の実験をすることなどで理科が楽しかった」と感想をいただいています。



地元小学校での出前授業(本社)

科学技術館での展示、イベント実施

科学技術館(東京都・千代田区)にて常設展示を行い、モーターの基本原理や、私たちの暮らしの中で活躍しているモーターとモーターを使った工作などをわかりやすく紹介しています。また、同館との共催で、理科実験教室を開催しています。



科学技術館での理科実験教室(本社)

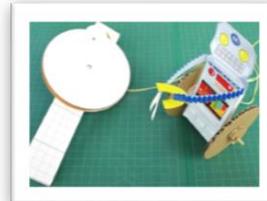
子供たちとともに「ものづくり」を楽しんでいます。

夏休み工作教室

本社所在地(松戸市)の児童(小学4~6年生)を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を、毎年開催しています。多くの子供たちにもものづくりの楽しさを体感していただくこの工作教室を今後も継続して行います。



社員が講師を務める夏休み工作教室
「手回し発電の横二輪車をつくろう！」

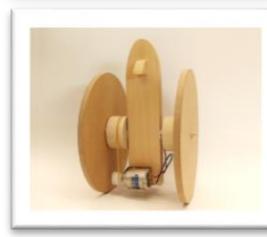


木工工作イベント

夏休み以外にも、5月に静岡で開催されるホビーショー、9月には千葉県立現代産業科学館にて、当社モーターを使用した木工工作を楽しんでいただきました。



千葉県立現代産業科学館での工作イベント



木工工作

職場体験・見学

地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を継続的に受け入れています。

海外拠点でも、地域の児童を招待し、職場見学を実施しています。



職場見学の様子(中国)

海外拠点の教育支援

中国拠点では、地域の小学生から大学生までの生徒に対して、奨学金制度、書籍や学習用品の贈呈などの教育支援を継続的に行っています。



小学校への寄付活動(中国)



インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供して、働くことを実感し、当社の考え方の理解を深めていただくため、高等専門学校生、大学院生、米国大学生のインターンシップを本社にて受け入れました。



高等専門学校からのインターンシップ生を例年受け入れ(本社)



海外インターンシップ生(本社)

柏レイソルアカデミーへの協賛支援

当社は、地域社会貢献活動の一環として、プロサッカーチーム柏レイソルの選手育成組織であるアカデミーとユニフォームスポンサー契約を締結し、本社地元東葛飾地区に本拠を置く柏レイソルの青少年クラスを支援しています。



地域支援活動

マブチグループ全体で、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。

地域社会との共生を目指す本社

本社棟建設時には、「地域社会との共生」をコンセプトの一つとして、敷地内の開放的な前庭に、「ビオガーデン」と呼ばれる、なだらかに流れる水景と野原を配置しました。

築12年を経た現在でも、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を継続し、生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生の再現や、外来種の排除などを含め、地域環境の向上に貢献しています。



本社建屋の屋上緑化

ビオガーデン

地域支援

マブチグループでは、児童養護施設や老人ホームへの慰問活動や寄付活動を、継続的に実施しています。



老人ホーム、リハビリ病院への慰問活動（中国）



寄付活動（ベトナム）



衣類を寄付（中国）

献血活動

当社は、本社をはじめマブチグループ全体で積極的に献血活動に協力しています。



（本社）



（中国）

植林・美化・清掃活動を積極的に行っています。



工場周辺の清掃活動（中国）

活気のある職場づくり

人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、様々な役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

社員表彰制度

当社は、永年(30・20・10年)勤続、社業に貢献、他の模範となる行動、及び地域社会貢献などを行った社員に対して、毎年創立記念式典にて表彰状を授与する制度を行っております。これは、マブチグループ全社員を対象としたものです。



代表取締役と記念撮影(本社)



受賞者に記念品を授与(ベトナム)

障がい者雇用促進

当社は、障がいのある方もない方も同様に、個人の能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、本社をはじめマブチグループ全体で雇用を促進しています。

社内での生活、仕事などあらゆる面において、障がいを持つ方にも配慮した措置を設け、快適に勤務できる環境づくりに努めています。

当社は、経営基軸の中で「人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」と掲げ、マブチグループ全体で、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長することができ、働きがいを感じられる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

ワーク・ライフ・バランス

社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

法令を上回る内容の育児休業期間設定及び子育て中の社員の時短制度の導入などをはじめとするファミリー・フレンドリー施策を推進し、千葉県「社員いきいき!元気な会社宣言」にも参加しています。

千葉労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」も取得済みです。



働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業(3年)・介護休業(1年)
 - ・育児・介護休業中の自己啓発支援
 - ・配偶者出産時休暇制度:取得率100%
 - ・不妊治療のための低利融資制度
 - ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入
 - ・有給休暇取得促進
 - ・福利厚生施設の充実
- など

労働者のための企業表彰

ダナンマブチは、ベトナムの労働者・社会問題省・労働新聞・商工会などからなる委員会より、労働者向けの施策実績があった企業として表彰されました。

生産・販売による事業を通じて、納税や雇用など、社会に多大な貢献を行った点、及び組合活動を積極的に行い、就労環境の改善に努力した点が評価されました。



海外拠点実務交流

マブチグループ全体の一体感醸成、協働体制の構築、情報の共有化、及び総合力アップなどを狙いとして海外拠点スタッフの本社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流を実施しています。

今後もこの制度を充実させながら、継続していきます。



社員が学び成長できる研修

当社の研修制度は、社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくためのプロセスの一つと考えています。役員から新入社員までを対象に、多様な視点で研修を行っています。



様々な形の研修を開催(本社)

海外拠点での人材育成の取り組み

マブチグループでは、毎年生産拠点代表者が一堂に集まり、技能競技会を開催し、優秀な成績を獲得した社員は表彰されます。それぞれの拠点内でも、同種のイベントが行われ、社員同士が切磋琢磨して技術の向上を図っています。



2016年はベトナム拠点で開催

教育支援・資格取得奨励制度

◇英語学習支援

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、語学(特に英語)を学習する風土づくりのため、以下の施策を行っています。

- ・TOEIC受験の機会提供
- ・TOEIC対策講座開催
- ・オンライン英会話システム利用の機会提供
- ・短期留学制度
- ・トレーニー制度 など

また、海外からのインターンシップ生による英会話教室や専門知識講義により、グローバルコミュニケーション力の向上を図っています



フィリピンへの語学留学制度



海外からのインターンシップ生との英会話教室

◇資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして、「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

また、「マブチビジネススクール」(通信教育)を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

◇多目的自習室

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるように「多目的自習室」を社内に設置。パソコン・無線インターネット環境・各種教育ソフト・書籍・英語の新聞・雑誌などを用意し、社員各自が業務前後や休み時間などを活用して自己啓発に役立てています。

社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は、会社で働くすべての人々のコミュニケーションの円滑化と一体感の醸成を目的に、ガーデンパーティーや所属対抗ボウリング大会など様々な活動を行っています。



家族も一緒に楽しむガーデンパーティー(本社)



所属対抗ボウリング大会(本社)

心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、いきいきと働けることは、社会生活の基礎であり、企業の活力向上につながる。と考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

また、人間ドックを受診希望する35歳以上の社員に対し、受診費用補助や、健康診断後に産業医による健康相談を行っているほか、2015年からは社内禁煙施策を開始しています。

海外拠点においても、それぞれの国や地域の状況に合わせて、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しています。



社員向け健康講座を開催(中国)

海外拠点の社員参加イベント

定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭など、社員が参加できるイベントを実施しています。



(中国)



(中国)



(欧州)

環境マネジメント

当社は、本社及び生産拠点に「環境マネジメントシステム ISO14001」を導入し認証を取得しています。
 また、マブチグループ、本社、各拠点・各部門において環境目標を設定し、徹底したPDCA管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。
 今後も環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し、高いレベルの環境保全活動を実施していきます。

環境マネジメントシステムの構築

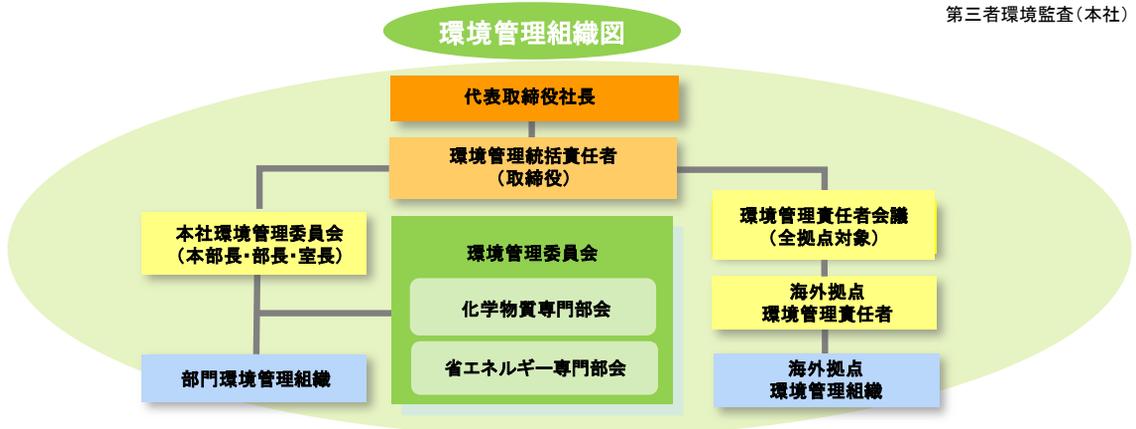
取締役が環境管理統括責任者として、マブチグループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。
 本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理統括責任者が委員長となり、本部長・部長・室長で構成されたメンバーで、マブチグループの環境方針、環境目標、施策などの審議、決定を行います。
 また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。

環境監査

当社の環境マネジメントシステムが、ISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、審査登録機関(第三者)及び社内の監査部門により監査を行っています。これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的に維持・向上を図っています。



第三者環境監査(本社)



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
 代表取締役社長

大越博雄

制定：1998年9月27日 改訂：2013年3月28日

環境にやさしい企業活動

マブチグループ全体で、企業活動という視点でも、地球環境を保護するために様々な工夫や改善対策を継続的に実施しております。

梱包の工夫による資源の削減

本社及び生産拠点において、梱包仕様の標準化及び改善を行うことで資源の削減を行っています。例えば、写真のようにプラスチック袋包装が必要のないものを検討し、プラスチック袋包装を廃止しました。また、梱包の形を標準化することで、無駄のない輸送が可能になり省エネに貢献しています。



照明のLED化

本社及び生産拠点において、社内照明のLED化を進め、省エネの取り組みを行っています。



高雄マブチが3年連続資源回収優良企業

高雄マブチは、台湾高雄市楠梓加工区管理處より、「資源回収(廃棄物リサイクル)優良企業」として3年連続で表彰されました。



設備変更による電力消費削減

生産拠点において、クーリングタワーを回転式から垂流式にすることで、電力使用量を2割削減いたしました。



エアコン使用による電力消費削減

本社及び生産拠点において、エアコンの使用による電力消費を減らすため、夏の室内温度を28℃に設定して管理しています。

また、夏は給湯や便座ヒーターの利用を停止するなどの節電にも取り組んでいます。

こうした節電状況をイントラネットで公開したり、工場内でも、皆が見えるところに掲示して節電意識の向上に努めています。

水資源の再利用

本社及び生産拠点において、水洗トイレや緑化用などに、中水を使用しています。中水とは、飲むことはできないけれど、人体に影響を及ぼさない形で再利用される水のことで、主に雨水を使用しています。



環境コミュニケーション

環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員はもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様へ、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

ホームページ上で公開している「社会・環境報告書」を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、皆様とのコミュニケーションを更に充実させてまいります。



ホームページ 環境・社会貢献活動情報

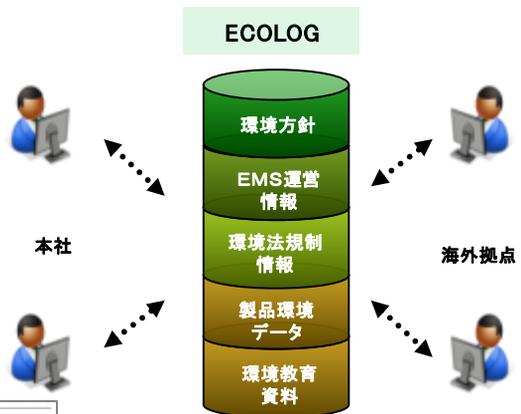


環境コミュニケーション活動の展開

マブチグループ全体で、環境情報の共有化及び環境保全活動を効率的に行うため、本社及び海外生産拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上に「ECOLOG」と呼ぶ環境情報を集約したデータベースを作成し、本社をはじめ世界各地の社員が、「ECOLOG」を通して、様々な環境情報を共有し活用しています。

その他、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を社内報に掲載して社員の環境意識の向上を図っています。



環境管理責任者会議 (中国にて開催)



社内報記事 (本社)



社員食堂に掲示されている環境関連情報 (本社)

環境を考える標語・ポスター 作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。本社及び海外拠点から、1次審査ではトータル1万点を超える応募がある中、2次審査へ約120点の作品が進み、その中から選ばれた受賞作品を本社食堂に展示し、環境意識をより一層高めました。

【受賞作品例】

ポスター部門



コンテスト入賞作品展示(本社)

標語部門

- 不只是生産馬達、更是造出綠色夢想！
(私達はモーターだけでなく緑の未来もつくっています！)
- 让万宝至绿色马达驱动美好人生！
(マブチのグリーンモーターは、素敵な人生も駆動します！)
- 環保三不由己:不丟棄、不產出、不髒污。
(環境保護の「三無い」活動: 捨てない・出さない・汚さない)

環境教育

社員の環境に関する意識の向上を図るために、階層別、目的別の環境教育を実施しています。



廃棄物分別教育(本社)

「廃棄物」を削減する施策例

★ 24/36

施策	詳細
廃棄物を出さない 元を断つ	①無駄なもの、必要以上の量を買わない ②不要なものを買わない ③社内持ち込まない
抑制する	①買わないでよい方法を考える ②あらゆる削減に合わせる ③自分でやる
廃棄物の削減を考える	①紙、墨、印紙、②画板、③ターナール容器の再利用、④紙類の回収 ⑤大型容器で購入
再利用する	①食べ物や飲み物も好き嫌いなく ②廃棄する前、再利用、改善、再活用を考える ③買わないでよい方法を考える ④中古品として販売を考える
長寿命化・長期間使用する	①耐久性の高いものを買う ②壊せぬものを買う ③壊れても修理できる
原材料や材料を有効に使用する	①不良品の削減 ②歩留率向上させる ③廃棄物の発生を抑制する
管理による削減	①廃棄物の見える化 ②廃棄物の削減活動 ③環境別の廃棄物の削減

あらゆる業務で、ゴミを減らす工夫をお願いします

全社員が共有している環境教育資料の一部(本社)

環境の歩み

- | | |
|--|---|
| <p>1993年 「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化</p> <p>1997年 環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置</p> <p>1998年 マブチグループの「環境基本方針」を制定</p> <p>1999年 ISO14001の認証取得</p> <p>2000年 グリーン調達活動開始
モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了</p> | <p>2001年 「環境報告書」を発行開始
はんだの鉛フリー化量産準備完了</p> <p>2002年 六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始</p> <p>2004年 最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工</p> <p>2006年 全製品を、欧州RoHS／ELV指令適合品に切り替え、全拠点で「グリーン調達説明会」を開催</p> <p>2008年 「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更
(社会的な取り組みについても掲載)</p> <p>2012年 環境基本方針を「マブチグループ環境方針」に改訂</p> <p>2015年 環境に配慮した新工場「メキシコマブチ」を竣工</p> |
|--|---|

環境データ

	単位	2012	2013	2014	2015	2016
購入電力量	(万kWh)	16,443	16,351	17,331	18,388	17,718
CO2排出量	(t-CO2)	98,301	84,057	85,860	88,196	93,635
最終廃棄物量	(t)	1,387	1,437	1,503	1,273	1,297
水使用量	(千m ³)	1,191	942	886	815	816
石炭使用量	(t)	8,551	2,876	1,650	0	0

このデータは本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算しています。



発行: 2017年5月
〈お問い合わせ先〉
マブチモーター株式会社
管理本部 総務部
〒270-2280
千葉県松戸市松飛台430
TEL: 047-710-1111
E-Mail: kankyo@mabuchi-motor.co.jp